

# 短期集中いきいき

訪問  
通所

## サービス

高齢者の方の  
「したい・やりたい・なりたい」  
を応援します

対象：事業対象者、要支援1・2の人

※詳しくは裏面を確認してください

健康運動指導士等の専門職が、対象者の方の目標の達成に向け、3か月間(最大6か月間)、最大で週1回の訪問又は通所による短期集中的なサービスにより、生活行為・身体機能の改善等を目指して支援します。

アセスメントの結果に応じて、栄養改善の内容や、リハビリ専門職の支援を取り入れます。



このような方は、ぜひ活用をご検討ください

### 退院後

退院後、体力が低下し一人で外へ出かけることが不安…  
買い物や趣味活動を再開したい。

退院後に自宅で過ごしてみると、体力低下で身体を動かしにくくなって  
ることに気づいて少し心配…  
安心して生活できるようにしたい。

### 最近 なんだか…

今まで体操教室に通っていたが、転んだことをきっかけに腰が痛くなり出かける  
にくくなった。治療は終わったが、  
まだ出かけるに…  
また体操教室に通いたい。

膝が痛くて歩きづらい。椅子から立ち上がりにくく、何をするのも億劫  
に感じる…  
家でできる運動を習ったり、動きやすさを身につけたい。

家事や庭仕事がしにくくなってきた。  
気づけば体重も減り、食欲も落ちてきている…  
運動と食事の指導を受け、  
毎日の生活をより良くしたい。

歩きにくくなり、コンビニまで歩くのに時間がかかるようになった…  
もっと体力をつけ、10分以内で歩けるようになりたい。

### リハの 対象外 だけど

通所リハビリテーションの対象ではないが、体力低下等から体が動か  
しにくい…  
楽しく運動等を習って、いつまでも趣味の農作業ができる  
身体づくりをしたい。

### 福祉用 具・住 宅改修 の前に

福祉用具利用や住宅改修を考えているが、体の動きが少し改善  
すれば、活用しなくても過ごせそう。

福祉用具の利用に合わせ、自分でできる運動を習って、  
より安全に、安心して元気に過ごせるようになりたい。



## 相談事例



- ・家の中でも歩きにくく、つまづきやすくなり、外出したいが転ばないか心配で、閉じこもりがちになっている。今まで通っていた趣味活動を再開したい
- ・右肩が痛いので、右腕があがりやすく洗濯ものが干しにくい。洗濯ものが干しやすくなるようにしたい
- ・膝が痛くて椅子から立ち上がりにくいので、椅子から立ち上がりやすくしたい

## 利用者の声・終了者の状況

- ・趣味活動、美容院、買い物及び外食など、出かける頻度が増えた
- ・シャワーのみだったが、毎日湯船に浸かることができるようになった
- ・「何かしないと」という意識が芽生え、サービスCで習った運動や、散歩、畑での農作業が継続できている
- ・食事、運動、社会参加(人との会話等)を心がけるようになった



## 短期集中いきいきサービスと訪問・通所リハビリテーション(介護保険)の比較

	短期集中いきいき訪問(訪問C)	訪問リハ	短期集中いきいき通所(通所C)	通所リハ
医療的介入 (疾病・傷病の 治療的側面)	×	主治医と連携	×	主治医と連携
医師の意見書	×	○ (診療情報提供書 が必要)	×	○ (診療情報提供書 が必要)
利用期間	3か月 (最大6か月)	原則1年	3か月 (最大6か月)	原則1年
目的	自立支援・重度化 防止、生活行為の 改善	機能向上重視	自立支援・重度化 防止、生活行為の 改善	機能向上重視

※短期集中いきいきサービス(サービスC)については、サービス導入前に、当該サービスによる介入が可能かどうかについて、主治医への確認をお願いすることがあります。  
(主治医に確認する場合の例:進行性疾患や病態が安定しない者、医療依存度が高い者等)

## 短期集中いきいきサービスについて

項目	概要
期間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 原則3か月間(延長可、最大6か月)、週1回程度(最大で週1回)</li> <li>▶ 訪問型:1回30～60分程度／通所型:1回60分程度</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ご自宅への訪問 または 通所(市内3か所、送迎が必要な場合は要相談)</li> </ul> ※訪問と通所を組み合わせての利用も可能です
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 介護予防のためのセルフケアの助言・指導</li> <li>▶ 生活行為及び身体機能の維持・改善のための身体活動の指導</li> <li>▶ アセスメントの結果に応じて、栄養改善の指導 など</li> </ul>
実施する専門職	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康運動指導士、管理栄養士</li> </ul> ※その他、必要に応じ、リハビリ専門職(作業療法士・理学療法士・言語聴覚士)が助言等を行います
利用料 (本人負担額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 訪問型:1回あたり400円</li> <li>▶ 通所型:1回あたり430円</li> </ul>
利用できる人	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 基本チェックリストの該当者(事業対象者)</li> <li>▶ 要支援1・2の認定を受けている人</li> </ul> ※次の対象者の状態像に合致する人を想定しています
対象者の状態像	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 短期集中いきいき通所サービス(通所型サービスC)の場合 以下の全てに該当する者               <ul style="list-style-type: none"> <li>①【生活機能】調理、買物、趣味活動等の生活行為に支障があり、短期間の支援により改善が期待できる者</li> <li>②【意欲・終了後見込】介護予防に意欲的に取り組むことができる見込みがあり、終了後は通いの場等の社会参加に資する活動等への移行やセルフケアの継続が期待できる者</li> </ul> </li> <li>▶ 短期集中いきいき訪問サービス(訪問型サービスC)の場合 上の①②に加え、心身の状況のために通所による事業への参加が困難、又は居宅への訪問による支援が必要と認められる者</li> </ul>
留意事項	<p>(i)進行性疾患や病態が安定しない者、医療依存度が高い者等については、主治医に介入可能か確認してください。</p> <p>(ii)利用にあたってはケアプランの策定が必要です。</p> <p>(iii)上記の(i)に該当しない場合や医療的な介入の必要性が高い場合は、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションの利用を検討してください。</p>

## サービス提供事業所

### 短期集中いきいき通所サービス(通所型サービスC)

会場	サービス対象地域	定員	開催日	送迎
ふれあいの家出雲・縁	出雲地域	15人	木曜日 午前	要相談
西部高齢者健康交流館	河南・浜・二中校区	15人	火曜日 午前	要相談
平田ふれんどりーハウス	平田地域	20人	水曜日 午前	要相談

- 委託先：株式会社さんびる
- 連絡先：0852-26-0335 〈健康福祉部宛〉

### 短期集中いきいき訪問サービス(訪問型サービスC)

- 委託先：株式会社さんびる
- 連絡先：0852-26-0335 〈健康福祉部宛〉

## 利用に関するご相談

### 利用のご相談は…

#### ①対象者の方にケアマネジャーがいる場合

ケアマネジャーへご相談ください。

#### ②対象者の方にケアマネジャーがいない場合

対象者の方のお住まいの地域の高齢者あんしん支援センターへご相談ください。

≪高齢者あんしん支援センター(地域包括支援センター)≫

- 出雲 ☎25-0707 (出雲市社会福祉センター内)
- 平田 ☎63-8200 (平田福社会館内)
- 佐田 ☎84-0019 (出雲市役所 佐田行政センター内)
- 多伎 ☎86-7122 (多伎地域福祉センター内)
- 湖陵 ☎43-7611 (湖陵福祉センター内)
- 大社 ☎53-3232 (出雲市役所 大社行政センター内)
- 斐川 ☎73-9125 (出雲市社会福祉協議会斐川支所内)

\*ケアマネジャーの方は、サービス提供事業所(上記)にご相談ください。

\*対象者の方が利用対象かどうかお悩みの場合は、出雲市医療介護連携課までご相談ください。